

授業科目名・形態	文章表現	講義	必修・選択の別	必修	単位数	2
担当者氏名	越後 美緒子		実務経験の有無	有	開講期	1年前期

### 【授業の主題】

多様な情報が行き交う現代社会では、誰もが「読む」「聞く」「書く」「話す」などの言語活動を通して、物事を正しく認識・判断するとともに、適切な発言ができる能力を身につけなければならぬ。

医療・福祉・保健等に関わる専門家は、人々の心身の健康や安全を支える重要な使命を負っている。その活動を将来にわたって充実・発展させるために必要な、実践的な文章表現力を養成する。

### 【到達目標】

- 1) 言葉に対する意識を高め、自身の文章表現力を診断して、今後の学習課題をつかむ。
- 2) その課題の達成方法を見出し、具体的な計画を立てる。
- 3) その計画を試行し、成果を検証してみる。

### 【授業計画・内容】

第1回	[授業計画・内容の概説]	医療・福祉と「文章表現」
第2回	[表現学習の方法]	日常生活における「文章表現」
第3回	[日本語の特性と現状]	和語、漢語、カタカナ語、略語
第4回	[表現の種類と特色①]	話し言葉（敬語を中心に①）
第5回	[表現の種類と特色②]	話し言葉（敬語を中心に②）
第6回	[表現の種類と特色③]	書き言葉（手紙を中心に）
第7回	[文章の基礎①]	語彙を増やす 語彙を選ぶ
第8回	[文章の基礎②]	表現の要点（正確・簡潔）
第9回	[文章の基礎③]	表現の要点（平明）
第10回	[小論文の作成①]	レポートと論文 主題の選定
第11回	[資料の収集と活用] 新聞資料の活用	
第12回	[文章の構成と展開①]	論証の進め方 例示・引用
第13回	[文章の構成と展開②]	構成案の作成 「段落」の重要性
第14回	[小論文の作成②]	事実と意見 独自性と説得力
第15回	[小論文の作成③]	表記のルール 推敲

【授業実施方法】 講義と演習を組み合わせる。

【授業準備】 各回ごとに次回の予習課題を与え、それをもとに授業を進める。

【主な関連する科目】 「コミュニケーション論」「社会学」「文学」等。

【教科書等】 特定のものを使用せず、各回ごとに、授業内容に即した教材を配布する。

【参考文献】 国立国語研究所・日本新聞協会・日本看護協会出版会等の刊行資料 他。

【成績評価方法】 定期試験 70%、小論文 20%、演習課題 10%、として評価する。

### 【実務経験及び実務を活かした授業内容】

- ・日本新聞協会主催・文部省後援全国指導教官研修会等で講師を務める。
- ・県図書館部会主催「読書感想文コンクール」県審査委員としての経験。
- ・医療・福祉の分野における、言語表現の重要性、有効性に気付かせ、学習が将来の言語活動の向上につながるよう意識して、実践的に指導したい。
- ・多様な情報を正しく読み取り、学習や生活、仕事に活用するための、「メディアリテラシー」を身につけさせたい。

### 【学生へのメッセージ】

- ・文章には、一人一人の持つ知識や関心の傾向、課題に対する思考力や解決能力などが、総合的に映し出されます。文章表現力を磨くことは、「人間を磨く」ことにもつながります。